

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひまわりとよた		公表日		R7年3月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		活動しにくさや安全面に問題があればその都度見直し、変更・改善しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		必要な配置人数を確保しています。また、こどもの状態に合わせ、必要な職員が配置できるよう毎日確認し対応しています。	離職などによる急な人員減にも対応できる職員数の確保が必要です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		活動内容やこどもの動きに合わせて区画をパーテーションなどで仕切り、安全の為にルールを決めています。	手洗い場、トイレは段差があるため、必要な場合は介助を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の清掃・除菌を行っています。こどもたちが好きな活動や遊びに取り組み、落ち着いて過ごせる場所を提供しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		カームダウンスペースを作り、活用しています。また、個別の部屋が必要な場合は相談室を使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		改善すべき点があれば常に意見を出し合い、広く職員間で話し合いを行っています。	取り組みが単発で終わってしまい、振り返りと次への取り組みが充分でない時があります。サイクル化のための仕組み作りについて検討中です。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		評価表の集計結果を職員間で情報共有し、改善の必要がある内容について検討し、今後の活動や支援に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎日の打ち合わせ、終礼、職員会議などで出た意見はすぐに検討し、業務や支援に生かすための取り組みを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		定期的な外部評価が行えていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		法人内の研修や外部研修など、積極的に参加し資質向上に取り組んでいます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			支援プログラムの周知がまだ充分でない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		こども一人ひとりについてのアセスメント、ご家族を含めたニーズや課題について丁寧に面談を行った上で放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		計画作成の際には、職員全員が参加して現状把握や目標設定について検討を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		職員全員に面談記録・デイサービス計画書を展開し、共有したことを確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		こどもたちの日々の行動に関する情報収集を常に行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		こどもの状況、保護者のニーズなどを踏まえ、ガイドラインに沿った目標設定、支援内容を設定しています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間での情報共有を活発にしながら立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		活動プログラムの内容をアップデートしていくため、チーム編成や立案のプロセスを含めた検討を行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		こどもの状況を把握し、その姿に即したデイサービス計画を作成、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼時や送迎前に必ず打ち合わせを行い、非常勤スタッフへも展開できるように記録して残しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		送迎後にその日の支援内容やこどもの様子、送迎時の保護者からの情報などを職員間で共有し、次の支援に生かせるよう話し合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		こども一人ひとりの記録を丁寧に取るよう心がけています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		こどもの好きな活動と支援の必要な活動を複数組み合わせ支援を行い、楽しく通える施設を目指しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		活動の際は複数の選択肢を準備し、こどもが選ぶことを基本としています。また、支援が必要な場面では、どうしたら良いかを問いかけ、一緒に考える支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		連絡が必要な場合はすぐに情報共有し、必要な対応を取っています。おおむね良好な関係を保つことができています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		保護者からの情報共有が多い現状です。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		移行先とのつながりが出来ていない場合が多い状況です。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		発達センターの研修等に積極的に参加し、助言を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	外出活動の際にはなるべく一緒に遊べる機会を作っています。	地域の行事等へ参加する活動を取り入れていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		協議会の活動について知らないことが多くあります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時等に保護者とのコミュニケーションを取り、その日のこどもの様子や対応について伝えていきます。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		ご家族のための研修や気軽に参加できるプログラムを計画していく必要があります。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		新規ご利用の方に、時間をかけ、丁寧に説明させて頂いています。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		モニタリングや面談の場で必ず確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1		相談に対して助言などを行っていない場合があります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	保護者同士の交流の機会を行事の中に取り入れ、参加しやすいよう工夫しています。	現在、年に一回のご家族参加行事となっているため、日程によって参加できないご家族がいます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		利用者限定のブログにて活動の様子等を紹介しています。連絡手段としてはLINEを活用し、ご家族からの連絡も頂いています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		子ども、保護者と職員が共通理解を持っているか常に意識し、職員間でも確認しながら行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		事業所の行事への招待などは行えていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各マニュアルを作成し、定期的な訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPを作成し、定期的な避難訓練等を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			服薬の量や種類が変わった際の情報を把握できていない時があるため、教えて頂けるよう発信していく必要があります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画に基づいた職員の研修や訓練を行っています。又、安全を確保した中で支援ができるよう、必要な対策・対応を考え、行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		ブログや書面にてご家族への周知を図っていく必要があります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		危険と思われる事象があった場合は、すぐに職員間で共有し、対策を検討・実施しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止研修や委員会を開催し、常に意識を改めながら対応しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				